

# 薬の知識

現在、処方箋が交付されたら薬局に処方箋を持参し、薬の説明を受けている方がほとんどだと思います。薬局では新型コロナウイルス感染症の拡大防止の一環で、薬剤師からの服薬指導を、自宅にいながらパソコンやスマートフォンでのテレビ電話機能を用いて受けることができる「オンライン服薬指導」を行っています。

オンライン服薬指導は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため全国の薬局で可能ですが、対策としては時限的・限定的なものです。時限的措置が解除されたら、従来のオンライン診療時・在宅訪問診療時の処方箋に基づく服薬指導のみに限定されます。かかりつけの薬剤師から3カ月以内に服薬指導を受けている場合しか、オンライン服薬指導を受けることはできないので注意が必要です。

## 薬局へ行く負担軽減

### 36. オンライン服薬指導



オンラインで行われる服薬指導

オンライン服薬指導のメリットは、通院・来局における移動時間や待ち時間の負担軽減につながり、受診・診療・服薬の継続率が高まることや、自宅で服薬指導を受けることで2次感染の予防になることなどが期待されます。

デメリットは、機器の操作に服薬指導を受ける方の慣れが必要なのが上げられます。画像や音声から得られる情報が限られており、薬剤師が患者の細かな変化に気づくことが難しいケースや、吸入器や自己注射器など複雑な手技を必要とする薬剤

（鹿児島県薬剤師会常務理事・江口清唯）

の指導が難しいこともありま  
す。さらに、オンライン服薬指導は、医薬品を自宅まで配送するので受け取りまでにタイムラグが生じます。そして薬剤の配送料や品質管理が難しい吸湿性のある薬剤等の配送の可否等も課題の一つです。

新型コロナウイルスはまだまだ油断ができない状況です。まずはかかりつけの医療機関や薬剤師に相談されてはいかがでしょうか。

「令和2年10月13日（火）掲載（36. オンライン服薬指導）」